



2024年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年12月15日

上場会社名 株式会社ノバック 上場取引所 東
コード番号 5079 URL <https://www.novac-cnst.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 立花 充
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長兼総務部長（氏名） 大谷 敏博（TEL）079-288-3601
四半期報告書提出予定日 2023年12月15日 配当支払開始予定日 2024年1月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年4月期第2四半期の業績（2023年5月1日～2023年10月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	16,303	△1.9	470	△73.1	476	△72.6	327	△78.0
2023年4月期第2四半期	16,624	△5.7	1,747	△6.7	1,737	△7.3	1,490	16.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年4月期第2四半期	63.55		—					
2023年4月期第2四半期	289.34		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第2四半期	31,430	18,820	59.9
2023年4月期	28,202	18,809	66.7

（参考）自己資本 2024年4月期第2四半期 18,820百万円 2023年4月期 18,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年4月期	—	80.00	—	—	—
2024年4月期（予想）	—	—	—	80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年4月期配当金（予想）の内訳 普通配当 120円00銭 記念配当 40円00銭

3. 2024年4月期の業績予想（2023年5月1日～2024年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	1.7	500	△80.8	330	△87.2	70	△96.6	13.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年4月期2Q	5,202,800株	2023年4月期	5,202,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年4月期2Q	52,211株	2023年4月期	52,211株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年4月期2Q	5,150,589株	2023年4月期2Q	5,150,627株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
(1) 四半期受注の概況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費やインバウンド需要の回復、DX化や脱炭素化などに向けた設備投資により、経済活動は緩やかな回復傾向が見られました。

その一方で、国際情勢の不安定や円安等による原油・原材料価格等の高止まりや世界的な金融引き締め等の懸念材料が見込まれ、依然として先行きは予断を許さない状況が続いております。

建設業界におきましては、公共建設投資は引き続き防災・減災対策をはじめとする国土強靱化計画のインフラ対策等により堅調に推移し、また民間建設投資も企業の設備投資意欲の高まりにより持ち直しの動きが見られました。その一方で、建設資材価格の高騰や受注競争の激化、労務不足に伴う労務費上昇が顕在化しており、厳しい事業環境となりました。

このような状況の下、当第2四半期累計期間の受注高は14,732,767千円（前年同四半期比45.4%減）となりました。売上高は、16,303,072千円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益は470,345千円（前年同四半期比73.1%減）、経常利益は476,354千円（前年同四半期比72.6%減）、当期純利益は327,335千円（前年同四半期比78.0%減）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が10.5%に対して当第2四半期累計期間は2.9%となり、7.6pt低下しました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

(土木工事業)

受注高は、6,428,674千円（前年同四半期比22.6%減）、売上高は5,486,944千円（前年同四半期比29.4%減）、セグメント利益（営業利益）は644,886千円（前年同四半期比54.3%減）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が18.2%に対して当第2四半期累計期間は11.8%となり、6.4pt低下しました。

(建築工事業)

受注高は8,304,093千円（前年同四半期比55.5%減）、売上高は10,807,369千円（前年同四半期比22.2%増）、セグメント損失（営業損失）は177,446千円（前年同四半期は営業利益333,463千円）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が3.8%に対して当第2四半期累計期間は△1.6%となり、5.4pt低下しました。

(その他)

売上高は8,759千円（前年同四半期比52.1%増）、セグメント利益（営業利益）は2,905千円（前年同四半期比4.2%増）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が48.4%に対して当第2四半期累計期間は33.2%となり、15.2pt低下しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、31,430,914千円と前事業年度末と比べ3,228,416千円（11.4%）の増加となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が10,963,509千円増加したものの、現金預金が7,561,754千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、12,610,002千円と前事業年度末と比べ3,216,880千円（34.2%）の増加となりました。主な要因は、電子記録債務が2,796,954千円、短期借入金が2,700,000千円増加したものの、支払手形・工事未払金が2,660,524千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、18,820,912千円と前事業年度末と比べ11,535千円（0.1%）の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上327,335千円、剰余金の配当309,035千円などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末比7,561,754千円減少し、6,885,280千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業キャッシュ・フローは、9,918,861千円の支出(前年同四半期は3,588,437千円の支出)となりました。主な要因は、売上債権の増加10,963,509千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、32,282千円の支出(前年同四半期は1,534,321千円の支出)となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が32,674千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,389,388千円の収入(前年同四半期は80,921千円の収入)となりました。主な要因は、短期借入金の増加が2,700,000千円あったものの、配当金の支払額が309,035千円あったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の業績予想につきまして、2023年12月8日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであり、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,497,034	6,935,280
受取手形・完成工事未収入金等	9,974,068	20,937,577
未成工事支出金	292,961	158,042
材料貯蔵品	9,991	9,410
その他	418,477	384,561
流動資産合計	25,192,531	28,424,872
固定資産		
有形固定資産	2,436,312	2,437,822
無形固定資産	91,872	95,666
投資その他の資産	481,780	472,553
固定資産合計	3,009,965	3,006,042
資産合計	28,202,497	31,430,914
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	5,867,229	3,206,704
電子記録債務	—	2,796,954
短期借入金	—	2,700,000
未払法人税等	481,327	196,662
未成工事受入金	2,141,658	2,420,409
完成工事補償引当金	38,458	19,236
工事損失引当金	79,188	23,462
賞与引当金	204,034	253,407
役員賞与引当金	35,700	17,658
その他	365,450	796,656
流動負債合計	9,213,048	12,431,151
固定負債		
退職給付引当金	19,326	19,326
その他	160,746	159,524
固定負債合計	180,072	178,850
負債合計	9,393,121	12,610,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,864	1,227,864
資本剰余金	762,864	762,864
利益剰余金	16,781,647	16,799,947
自己株式	△5,317	△5,317
株主資本合計	18,767,057	18,785,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,319	35,555
評価・換算差額等合計	42,319	35,555
純資産合計	18,809,376	18,820,912
負債純資産合計	28,202,497	31,430,914

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年5月1日 至2023年10月31日)
売上高		
完成工事高	16,618,498	16,294,313
その他の事業売上高	5,759	8,759
売上高合計	16,624,258	16,303,072
売上原価		
完成工事原価	14,158,661	14,979,440
その他の事業売上原価	2,971	5,853
売上原価合計	14,161,632	14,985,293
売上総利益		
完成工事総利益	2,459,837	1,314,873
その他の事業総利益	2,787	2,905
売上総利益合計	2,462,625	1,317,778
販売費及び一般管理費	715,013	847,433
営業利益	1,747,611	470,345
営業外収益		
受取利息	14	9
受取配当金	753	860
受取損害賠償金	—	9,324
受取補償金	800	—
雑収入	580	1,441
営業外収益合計	2,148	11,637
営業外費用		
支払利息	481	716
支払手数料	9,000	—
コミットメントフィー	2,972	4,912
営業外費用合計	12,453	5,628
経常利益	1,737,306	476,354
特別利益		
保険解約返戻金	441,250	—
特別利益合計	441,250	—
税引前四半期純利益	2,178,556	476,354
法人税、住民税及び事業税	688,292	149,018
法人税等合計	688,292	149,018
四半期純利益	1,490,264	327,335

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,178,556	476,354
減価償却費	22,792	27,371
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△1,766	△19,222
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△117,711	△55,725
賞与引当金の増減額(△は減少)	86,803	49,372
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,250	△18,041
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,124	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△34,712	—
受取利息及び受取配当金	△768	△870
受取損害賠償金	—	△9,324
受取補償金	△800	—
保険解約返戻金	△441,250	—
支払利息	481	716
支払手数料	9,000	—
コミットメントフィー	2,972	4,912
売上債権の増減額(△は増加)	△3,183,954	△10,963,509
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△56,905	134,918
その他の棚卸資産の増減額(△は増加)	2,136	581
仕入債務の増減額(△は減少)	△740,017	136,429
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△53,409	278,750
その他の流動資産の増減額(△は増加)	190,456	33,232
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△778,675	432,069
その他	2,395	2,079
小計	△2,933,753	△9,489,906
利息及び配当金の受取額	768	870
損害賠償金の受取額	—	9,324
補償金の受取額	800	—
利息の支払額	△481	△716
支払手数料の支払額	△9,000	—
コミットメントフィーの支払額	—	△4,912
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△646,771	△433,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,588,437	△9,918,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,968,002	△32,674
保険積立金の解約による収入	441,250	—
その他	△7,569	392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,534,321	△32,282

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600,000	2,700,000
自己株式の取得による支出	△100	—
リース債務の返済による支出	△3,914	△1,576
配当金の支払額	△515,063	△309,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,921	2,389,388
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,041,837	△7,561,754
現金及び現金同等物の期首残高	11,807,749	14,447,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,765,911	6,885,280

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	土木工事業	建築工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,771,558	8,846,939	16,618,498	5,759	16,624,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,771,558	8,846,939	16,618,498	5,759	16,624,258
セグメント利益	1,411,360	333,463	1,744,824	2,787	1,747,611

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,744,824
「その他」の区分の利益	2,787
四半期損益計算書の営業利益	1,747,611

当第2四半期累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	土木工事業	建築工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,486,944	10,807,369	16,294,313	8,759	16,303,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,486,944	10,807,369	16,294,313	8,759	16,303,072
セグメント利益又は損失(△)	644,886	△177,446	467,440	2,905	470,345

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	467,440
「その他」の区分の利益	2,905
四半期損益計算書の営業利益	470,345

3. その他

(1) 四半期受注の概況

(単位：千円)

項目	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)		比較増減	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
受 注 高	土木工事業	8,302,856	30.8%	6,428,674	43.6%	△1,874,182	△22.6%
	建築工事業	18,671,351	69.2%	8,304,093	56.4%	△10,367,257	△55.5%
	計	26,974,207	100.0%	14,732,767	100.0%	△12,241,439	△45.4%